

神話の国「出雲大社参拝」

(株)木のくに屋

本西 宏行

第53回 全国木材産業振興大会が10月18日に広島で開催され、参加させて頂きました。事前に大会の式次第のご案内があり、今回の記念講演の演目が「`高大な木造り神殿、~出雲大社をめぐる`なるほど、探訪」とあり、出雲大社・権宮司によるご高話を拝聴いたしました。折角ですので、翌日、島根県まで足を延ばし参拝することにしました。

出雲大社は、皆さまもご承知のとおり古代より「神います空 神集いし社」といわれております。まさに旧暦10月は八百万の神々がここ出雲大社に集まるので、出雲の国は「神在月」他国では「神無月」となります。

当日は、権宮司の千家和比古様のご案内による正式参拝でしたので「平成の大遷宮」後の本殿参拝に留まらず、瑞垣内のすべての神社を反時計回りにお参りする「御庭廻り」まで体験させて頂きました。

今回は、`高大な木造り神殿、`としての出雲大社参拝を木材屋の目線でレポートいたします。

巨大なしめ縄と、大きな国旗をイメージしていた出雲大社ですが、よくテレビに映るのは境内外にある神楽殿のものと知りました。

国歌に出てくる、さざれ石も同じく神楽殿への参道脇に鎮座しております。神楽殿が大駐車場の正面なので勘違いしがちですが、正式に一の鳥居から続く松の参道を歩き、銅鳥居をくぐり荒垣内に入ると、



さざれ石



松の参道



出雲大社拝殿



出雲大社境内全景

ここにも大きなしめ縄…。こちらが拝殿で、一般参拝はここでお参りすることとなります。「平成の大遷宮」の間は、仮御殿（仮の御本殿）として使用されていたので、正式と一般参拝の区別はありませんでした。

いよいよ、瑞垣内へ…。(あれ？御本殿のしめ縄は…普通？…) 権宮司の作法のご指導通りに、玉串奉納にて参拝させて頂きました。御本殿をはじめ、他に五社。(皆さんお賽銭が足りません…)



権宮司との正式参拝

さて、本題となる`高大な木造り神殿、

「天下無双の大廈(二つと同じものが無い壮大な神殿)」と称される御本殿は悠久の歴史の中で度々の御造営遷宮(建替え)を繰り返し、現在のお姿は延享元年(1744)に御造営され、昭和27年に国宝に指定されたそうです。大国主大神さまをお祭りする故に、男神のシンボルたる巨大な外削ぎの千木が目を引き、高さ8寸(24メートル)に及ぶ御本殿ですが、平面は9本の柱が田の字型に配され180坪の大屋根を支えています。用材として杉・檜・松が使われておりますが、柱以外にも梁や桁など“大社造り”と呼ばれる日本最古の神社建築様式には様々な巨木が必要不可欠です。

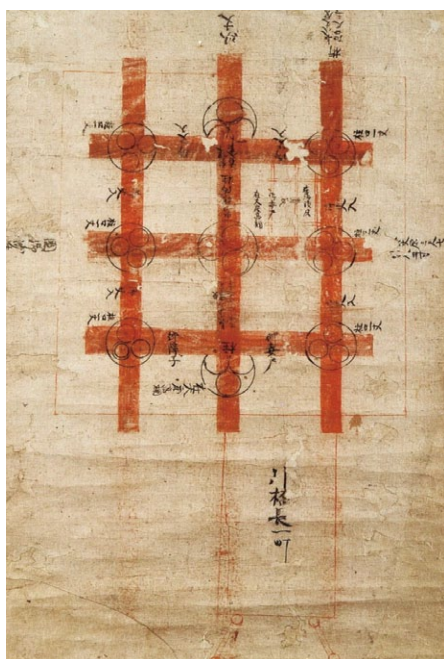
遷宮といえば、伊勢神宮における20年に一度の式年遷宮が有名ですが、ここ出雲大社においては「巨木が必要な故に久しく御造営遷宮が途絶えている」とのことでした。造営に必要な森林資源の確保は、歴史を紐解けば平安末期には用材の入手に苦勞していた記録が残っており、日本国中の霊山の御神木を寄進により調達していたようです。今後は、現在の御本殿を御修繕遷宮(修理)において維持し、平成20年から5年の歳月を掛けて行われた「平成の大遷宮」も60年ぶり4度目の御修繕遷宮でした。檜皮(ひわだ)の屋根の吹替えが修繕の中心ですが、41トン(71万枚)にも及ぶ檜皮の準備には大変な苦勞が伴ったとのことで、森林資源の大切さを改めて感じます。将来の遷宮に備えた部材確保のため、氏子達による檜の



出雲大社御本殿



御本殿大屋根



金輪御造営差図



古代御本殿心御柱

植林が行なわれたようですが、檜皮として採取できるのは100年後…。「遷宮とは単なる祭事のみならず、我々が自然と謙虚に向かい合い、平和を守り、文化を継承して行くこと」お言葉に、深い意味を感じます。

古代には3本の大木を金輪で束ね1本の柱とし、高さ16丈(48メートル)の御本殿があったと伝えられています。出雲大社宮司家に伝わる古代御本殿の平面図「金輪御造営差図」そのままに境内より3本束ねた心柱が発掘され、巨大神殿の謎が紐解かれようとしています。(実物が宝物殿に安置されています) 学術調査の年代測定によると、鎌倉時代の宝治2年(1248)と推定され、複数発掘された柱の相関図からも「金輪御造営差図」が立証されました。現在の建築物では、16階建てに相当する木造の巨大神殿に思いを馳せ…

ゝ高大な木造り神殿、

木材屋として、改めて出雲大社を参拝してみたいかがでしょうか？最後に、権宮司に教えて頂いた御本殿の絶景ポイントです。公式参拝でも、御庭廻りをしなければ御本殿にはなかなか近づけません。荘厳でゝ高大な木造り神殿、を一番近くで見上げられるのは、実は真後ろ側。瑞垣の外からでも御本殿、御神体に近づけ撮影ポイントとしても最高とのこと。すみません・・・。瑞垣内カメラ撮影禁止との事で写真は撮ってません。ぜひ、ご自身の眼でご覧になって下さい！



出雲大社の伝説の巨大神殿？



出典：出雲大社パンフレット